

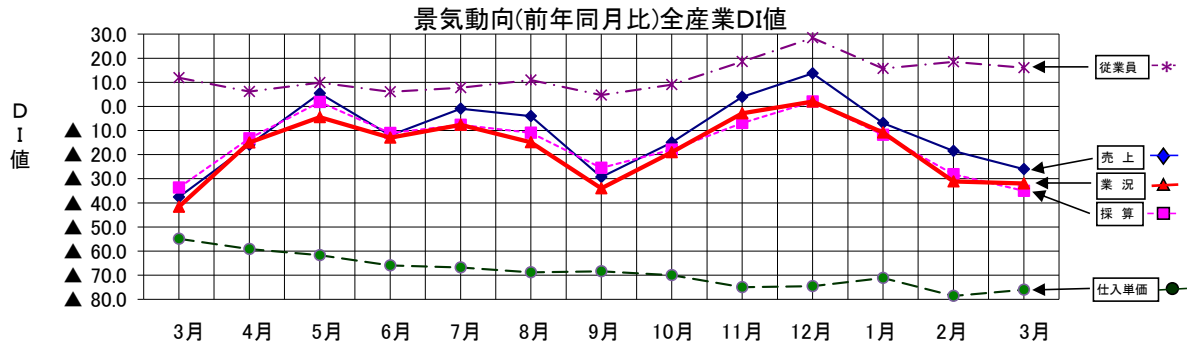
早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 3月分

【3月の概要】

「資材不足」「原油高騰」に深刻さ増す ロシアへの経済制裁による影響が不安感に拍車

業況判断を示すDI値は、業況判断、先行き見通しともに前月から引き続き悪化傾向を辿っている。業況の先行き見通しはマイナス14.3ポイントと大幅に悪化した。

寄せられたコメントでは、まん延防止等重点措置が解除されたものの人の動きが鈍いこと、また、半導体をはじめ鉄鋼材や食材など資機材の不足が深刻となっており、納期遅延が多方面で生じている。さらに、ロシアのウクライナ侵攻による経済制裁の影響が深刻さに拍車をかけている。現状でも苦しい原油高騰の状態がどこまで悪化していくのかを心配する声が多く、本格的な回復局面は見通せない状況である。



【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2021年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	2022年 3月
◆ 売上	▲37.6	▲15.9	5.4	▲12.0	▲1.0	▲4.0	▲29.3	▲15.0	3.9	13.7	▲6.9	▲18.5	▲26.0
■ 採算	▲33.7	▲13.3	1.8	▲11.0	▲7.7	▲10.9	▲25.5	▲18.0	▲6.9	2.0	▲11.8	▲28.2	▲35.0
▲ 業況	▲41.6	▲15.0	▲4.5	▲13.0	▲7.7	▲14.9	▲34.0	▲19.0	▲2.9	2.0	▲10.8	▲31.1	▲32.0
● 仕入単価	▲54.9	▲59.2	▲61.7	▲66.0	▲66.8	▲68.8	▲68.4	▲70.0	▲75.0	▲74.5	▲71.1	▲78.6	▲76.0
✱ 従業員	11.9	6.2	9.9	6.0	7.7	10.9	4.7	9.0	18.6	28.4	15.7	18.5	16.0

- ・プラス幅が減少したDI値：従業員▲2.5ポイント（需給均衡局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：仕入単価2.6ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：売上▲7.5ポイント、採算▲6.8ポイント、業況▲0.9ポイント

向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
1月	2.0	▲11.8	▲9.8	▲43.1	18.6
2月	▲3.9	▲13.6	▲9.7	▲57.3	14.6
3月	▲7.0	▲17.0	▲24.0	▲60.0	20.0

見通しが悪化したDI値：売上▲3.1ポイント、採算▲3.4ポイント、業況▲14.3ポイント、仕入単価▲2.7ポイント
従業員5.4ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	ゼネコン	元々の原油高騰、製造・物流障害に加え、ロシア・ウクライナ問題で今後の資材調達、価格反映が厳しくなると推察。
	リフォーム	ウクライナの影響、半導体不足に端を発した機器の納品遅延に加え殆どの商品が値上げの予定となっている。
製造業	鋼材	納期遅れによりお客様へ了解を取り付けたうえで、次年度へ工期を延長した案件が複数発生。
	椅子	品薄状態が続いている。金属、石油関連資材は今後更なる値上げの方向。
卸売業	建設資材	新型コロナ及びウクライナ情勢の影響により原材料が高騰、メーカーから値上げの連絡が相次いでいる。
	青果	オミクロン株の陽性者数が高止まり状況であり、歓送迎会等の業務需要もさほど期待できない。
小売業	自動車	半導体不足で新車の生産が制限され、お客様への納期が遅延している。この傾向は次年度も続く見通し。
サービス業	飲食	ウクライナ侵攻でロシア産材が締め出され、商材の入手が難しい。今後、売る物が無くなる事態にもなりかねない。
	タクシー	まん延防止等重点措置が解除になったが、まだまだ人の動きが鈍い。
	不動産	お家時間が定着したのか？古町の人の動きもまばら。早く以前の生活を取り戻したい。